

平和・安心を未来へ

塚原ととしあ

つかはら

おかげ様で市議24年。
これからも まっすぐ まじめに。

平和・安心を未来へ!

これからも まっすぐに まじめに。

平成の時代がもうすぐ終わり、5月には新天皇が即位され新しい元号となります。平成の30年余りは、どういう時代だったのかと思いを巡らせています。平成の時代は、バブル景気の崩壊、長引く景気低迷や大きな地震、津波による原発事故、豪雨災害などがありました。日本に戦争がなかったことが本当に良かったと思います。

いま日本は、戦後長く続いた人口増加と高度経済成長が大きな曲がり角を迎え、急激な少子高齢化・人口減少と日本経済の低迷が続く時代となりました。私たちの小山市は、まだ僅かながら人口が増え続けていますが、人口減少に転じるのに時間はかからないと思います。

少子高齢化・人口減少と低経済成長という新しい時代を迎えるにあたって、国も地方も将来に対する新しいビジョンが必要です。少子高齢化・人口減少が進み、働く人も納税する人も減少することが予測されますが、豊かな市民生活・平和で安心して暮らせる市民社会を実現していくためにはどうすればよいのかを考え、幸せ度の高い国、住みやすい地方を目指すべきだと思います。

塚原 俊夫

おかげ様で市議24年。 これからも まっすぐ まじめに。



立憲民主党公認
小山市議会議員候補

塚原としお

平和都市宣言の街・おやま

戦争のない平和な世の中が一番です。原爆を投下された第2次世界大戦の終戦から74年になります。私たちの子どもや孫を戦争に絶対に行かせてはなりません。戦争への道につながる安保法制や憲法9条への自衛隊の明記などは反対です。世界の平和と日本の平和憲法を守ります。

安心の暮らしが息づく街・おやま

少子高齢化・人口減少社会が急速に到来しています。「子育て・教育」「医療・福祉・介護」に重点を置いた市政運営を行い、子ども、子育て世代、働く世代、お年寄りや障がい者、男性も女性も誰もが健やかに安全で安心して暮らせる住みやすい街づくりをめざします。

住み続けたい魅力ある街・おやま

いまある小山市の自然・歴史・伝統などの地域資源を有効に活用して生活基盤、経済基盤を強くし、次世代を担う若い人たちを中心に様々な世代が、いきいきと活躍できる活力ある街・おやまを創ります。

希望と夢があふれる街・おやま

小山市は栃木県の南都であり、交通の便にも恵まれ、水とみどりと大地の豊かな街です。これからの新しい時代の子どもたちのために、小山市の魅力と存在感をもっと高め、豊かな形で次の世代に引き継ぎます。

議会が機能する街・おやま

議会に元気がありません。ただただ執行部の議案を追認するのではなく、市民の意見を聞き議員同士が十分議論することが大事です。発言する議会、行動する議会をめざして、議会の活性化を図り、議員からの政策提言と議会の機能強化を進めます。



市議会で熱弁をふるう



地域でのごあいさつ



公園で練習中の学童野球



工事中の東城南小学校



健康医療介護支援センター



新小山市市民病院



小山市消防署



長妻立憲民主党代表代与